

まちめぐり資源の解説

① 緑井毘沙門天(みどりいびしゃもんてん)

◎毘沙門天 本堂

毘沙門天は、別名を多聞天といひ「佛教守護神四天王」の一つで北方を守護するとされ、また世人に福徳を与えるといふところから七福神の中に加えられている。武田氏滅亡とともに荒廃したが、元禄15年(1702年)緑井村が再興。享和5年(1805年)火災に遭い、同7年(1854年)再々興。昭和63年(1988年)放火により全焼したが、平成2年(1990年)に鉄筋コンクリートで再建されている。平成26年(2014年)土砂災害で被害を受けたが、平成28年(2016年)に再建されている。

祭礼は、毎年旧暦初寅の日とその前夜に行われる「初寅祭」で、本尊毘沙門天の御開帳が行われている。



◎境内・参道

毘沙門天の境内には、樹齢百年を超える大杉や、修業大師像、福石などがあり、さらに参道の階段の両脇には、七福神像(毘沙門天を除く6体)、縁結び岩をはじめ、数多くの地蔵、石仏などがある。

また、仁王門、西明寺、東明寺は、願成寺が現在の中区寺町に移された際に、毘沙門堂とともにこの地に残されたものである。



◎毘沙門天の名水

毎年8月6日、平和記念公園の聖霊碑前で原爆犠牲者への「献水」が行われている。捧げられる水は広島市近郊17カ所から集められており、毘沙門天の名水もその一つである。



◎多宝塔・里見の岩

本堂裏手から西回り遊歩道を進むと多宝塔がある。多宝塔は、昭和59年(1984年)、原爆による犠牲者の慰霊のため建立された。塔内部には、爆心地に向かって正面に大日如来と四方に四天王が安置されている。また塔の前には里見の岩があり、里見観音が祭られている。「里見」の名に示されるとおり、広島市街地をはじめ高陽、沼田方面が一望できる。



② 石屋神社(いしやじんじや)

宗像三女神と応神天皇を祭るとある。芸藩通志によると、楽音寺神名帳という佐東郡四位石(岩)屋明神ではないかといっている。楽音寺神名帳というのは、その成立が平安時代までさかのぼることができると思われる安芸国の位階を持つ神社180社を載せ、豊田郡本郷町楽音寺に伝えられたことから、この名があり、もし、石屋明神がこの石屋神社であるとすると非常に古い歴史を持っていることになる。



まちめぐり憩いの空間づくり事業について

安佐南区では、区の魅力を高める「魅力づくり事業」の一つとして、「まちめぐり憩いの空間づくり事業」(平成13年度～平成20年度)を実施し、区民の皆さんと一緒に自然、歴史、まちなみ、施設、住民活動、祭りなど、地域の特徴ある資源を生かしたポイント(空間)や、これらを結ぶルートづくりを行い、平成20年度までに全18ルートが完成しました。

このマップは、平成15年度に開催された「まちめぐり憩いの空間ルート研究会」において、毘沙門台地区に在住の方を含む区民メンバーが調査・検討した結果をまとめたものです。



■バスを利用して毘沙門天に上る場合、広島交通「毘沙門台・サンハイツ線」をご利用ください。
※運行時刻、所要時間、経由地などは、運行会社にご確認ください。

あさなみ散策マップ ～毘沙門ルート～

発行：安佐南区役所 地域起し推進課 ☎082-831-4926
制作協力：まちめぐり憩いの空間ルート研究会
発行年月：平成16年(2004年)3月初版
平成19年(2007年)3月改訂
平成22年(2010年)2月改訂
平成24年(2012年)6月改訂
平成28年(2016年)3月改訂

毘沙門ルートとその周辺について

●緑井地区○

権現山の東～南の麓、太田川の支流古川と安川に囲まれた地域が緑井です。古くは出雲国に通じる雲石街道、現在ではJR可部線緑井駅、国道54号という県北部への主要な道筋にあたり、さらに山陽自動車道広島I.C.によって広域交通の要衝となっています。昭和40年代ころから広島市のベッドタウンとして丘陵地や農地の市街化が進み、現在の街並みが形作られました。

緑井、八木、川内の3つの村が昭和30年(1955年)に合併し佐東町が発足。昭和48年(1973年)に広島市に合併、昭和55年(1980年)の政令指定都市移行を受けて、現在の安佐南区の一部となっています。

「緑井」の名は、山(緑)の中に、干ばつの時も枯れず、大雨でもあふれることのない不思議な井戸があったという伝説からつけられたものといわれています。



昭和25年(1950年)の緑井・権現山



平成13年(2001年)の緑井・権現山

●毘沙門天○

権現山の腹に「緑井権現山毘沙門天」があります。毘沙門堂は治暦元年(1065年)頃、現在地に修業僧尊賢が行基作といわれる毘沙門尊像を安置したのが始まりといわれています。

正安元年(1299年)、毘沙門天を崇拝していた安芸守護武田氏が銀山城築城の時、北方の守護神としてこの地に願成寺を建立しました。願成寺は後に毛利氏によって現在の中区寺町に移転しましたが、毘沙門堂は残り、商売繁盛など人々の信仰を集めてきました。



正しい歩き方

せつかく歩くなら、正しく歩いて「健康ウォーキング」にしませんか？

胸を張り、背筋を伸ばし、肩の力を抜いてリラックス

ウォーキングは・・・
健康・高血圧等の生活習慣病を予防・改善するだけでなく、脳の活性化により、認知症や老化の予防、能力アップによる転倒予防にも効果的です！

元気じゃけんひろしま21
～安佐南区では、「健康ウォーキング」を推進しています！～



この印刷物は再生紙を使用しています

まちめぐり資源の解説

③ 権現山(こんげんざん)

権現山の山頂(標高397m)一帯は広島市の緑の森になっており、遊歩道やトイレ、駐車場などが整備されている。NHKと民放各局のテレビ塔が立つ山頂からは、広島市街地や遠く似島や宮島等の島々も一望できる。また、毘沙門天とも遊歩道によってつながっている。



④ 専蔵坊(せんぞんぼう)

昔は真言宗であったというが、今は浄土真宗。新宮山という。天文年間(1532～1554年)教順の開基と伝えられているが、火災に遭い、一切の記録を失っている。



⑤ 八木用水(やぎようすい)

江戸時代中期に開削された延長約16kmの農業用水路。太田川右岸の佐東、安古市、祇園にまたがる地域の農業用水を確保するため、南下安村の大工卯之助が中心となって工事を行った。八木村の十歩一から取水し、途中の農地を潤しながら、末端は楠木村に至っていた。

その後、取水口の変更や水路の改修を経て現在に至り、今は太田川発電所からの分水を使用している。



⑥ 緑井駅周辺地区第一種市街地再開発事業

JR緑井駅東側の約3.7haで行われた市街地再開発事業。駅前広場・都市計画道路などの公共施設と再開発ビルとを一体的に整備して市街地の活性化を図るもので、平成15年(2003年)3月に地上28階の住宅棟「緑井スカイステージ」が完成し、平成16年(2004年)9月に商業棟が完成、オープンした。



◎緑井駅前サロン

平成17年11月、緑井駅前に、地域の交流拠点として「緑井駅前サロン」がオープン。だれもが気軽に立ち寄れる談話室があるほか、高齢者や体が不自由な方の外出支援として電動スクーター・手押し車椅子の貸出(月～土曜日[祝日は休み])も行っている。

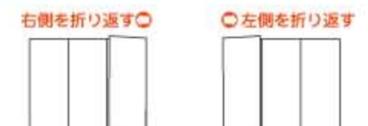


●主な参考文献●

佐東町史/郷土の歴史探訪(安佐南区公民館ネットワーク事業)/広島県大百科事典(中国新聞社)/その他、社寺の現地解説文など

●マップと資源の解説の見方●

地図面の右側を折り返すと、地図の左半分に掲載された資源の解説を読むことができます。逆に左側を折り返すと地図の右半分に掲載された資源の解説を読むことができます。





里見の岩



毘沙門台からの眺望(武田山・火山)



毘沙門台からの眺望(参道周辺)



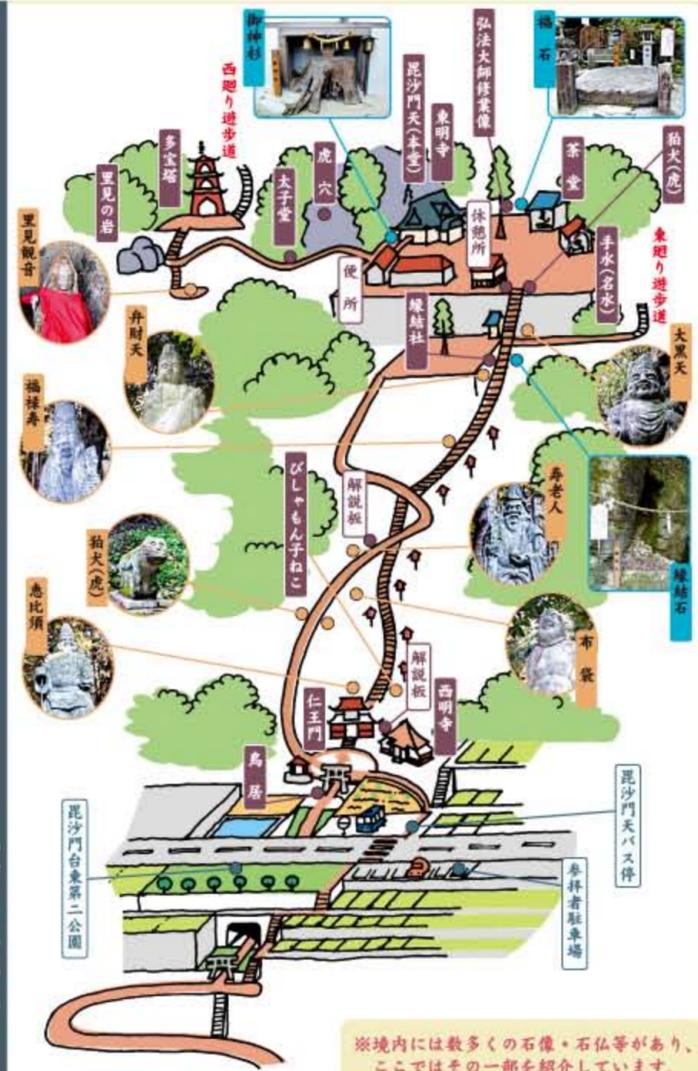
参道周辺の農地の風景



毘沙門天石像が立つ休憩スペース



権現山麓の森登山道で見かけた植物



※境内には数多くの石像・石仏等があり、ここではその一部を紹介しています。



緑井浄水場



浄水場周辺の桜



緑井駅前の照明灯



毘沙門天には「びしゃもん子ね」のお話が伝わっています。

むかし緑井権現山のふもと若谷の里にはなつと、おはなという娘がいた。病気がちの母親と二人暮らしで暮らしていた。

また近所に亥助というこれも貧乏だった者が暮らした。おはなは、おはなという娘がいた。病気がちの母親と二人暮らしで暮らしていた。

また近所に亥助というこれも貧乏だった者が暮らした。おはなは、おはなという娘がいた。病気がちの母親と二人暮らしで暮らしていた。



鯛(ほこら)の中のびしゃもん子ね



「毘沙門さんのお福」という紙芝居にも子ねが登場します

記号の説明

まめめぐりルート

0.3 区間の距離 単位: km

〔注意場所など〕

- 横断注意
- 信号交差点
- 歩行注意
- 急坂・急階段
- 地下道

〔まめめぐり資源〕

- 公園
- 河川・水路
- 神社、寺院、碑
- その他由来のあるもの
- 特徴ある風景
- 眺望場所
- 樹木
- 特徴的なお店

〔案内・解説の設置場所〕

- 現地案内板
- 資源の解説板

〔目標物・その他〕

- バス停留所
- コンビニエンスストア
- スーパー・ショッピングセンター等
- ガソリンスタンド
- トイレ

注) ①資源名で示したものは裏面に解説があります。